

活動完了報告

『オペラ「女はすてき」と日本歌曲コンサートの開催』

田川えり

≪報告および成果≫

自主公演リサイタルの第4回目企画として、オペラ「女はすてき」と日本歌曲のコンサートを実施。

公演内容は1部に日本歌曲のコンサート、2部にソプラノのためのモノ・オペラ「女はすてき」を上演した。来場者からは、『日本語の作品を聞けてよかった』『あんなにも楽しいオペラがあったなんて知らなかった』『知らない曲だったけれど、楽しくてあっと言う間のコンサートだった』『またモノ・オペラをやってほしい、次は名古屋だけでなく全国的にやってほしい』などのお声をいただいた。多くの方々に大変楽しんでいただけた様であった。

また、今回の公演を通じて地元新聞社とのご縁が生まれたり、地元の中川区にある企業や飲食店にご協力いただいたかわりに、企業情報を SNS に掲載するなどした。音楽を通じて人との新たなご縁や、地域に根差した活動に取り組めたのは、本公演を企画・実施したからこそのものであると思う。

一方で、公演当日にスタッフ1名が体調不良となったが、該当者とそれまでに接触した人はおらず、また他の関係者に前日や当日の体調不良者もいなかったため、公演開催を決定した。スタッフの欠員があったものの、会館の舞台担当者に急ぎよ依頼することになった。

新型コロナウイルスの第7波の影響によりキャンセル等が相次ぎ、当日の来場者は150名であった。

来場者に安心していただけるように、検温や手指の消毒に加え、舞台から前3列使用をせず、ロビーでのお見送り時の談笑は控えてもらった代わりに、カーテンコール中は写真撮影時間とし、来場者との距離感を大切にしながら出演者らによる見送りを行った。

≪今後の課題≫

公演チケット販売を始めた当初は、新型コロナウイルスの第6波も落ち着き、このままであれば目標としていた来場者数まで届くと思っていたが、8月に入り状況は一変してしまった。

取り置きや予約の中には、感染状況により外出をためらう方も多かったため、その心情を考えたうえでの広報活動は厳しいものであった。

今後は、さらに幅広い世代にもお越しいただけるよう、直接の呼びかけだけではなく、練習風景の撮影をして動画投稿するなど、SNSを活用した宣伝にもより力を注いでいきたい。

今後も長く続けていくためにも、地域に根差した芸術・文化発展のための活動を行っている演奏者がいることを多くの方に知っていただくことが重要なので、リサイタル以外にも地元での演奏会を積極的に開催したいと考えている。

また、今回のモノ・オペラ「女はすてき」をご覧いただいた方々からは好評をいただいております、さらに今回ご来場いただけなかった方からも「東京や大阪など名古屋以外での公演実施はないか」といったお問合せがあったため、今後、地元を飛び出しての公演も視野に入れながら、公演内容をより充実したものへとしていきたい。

